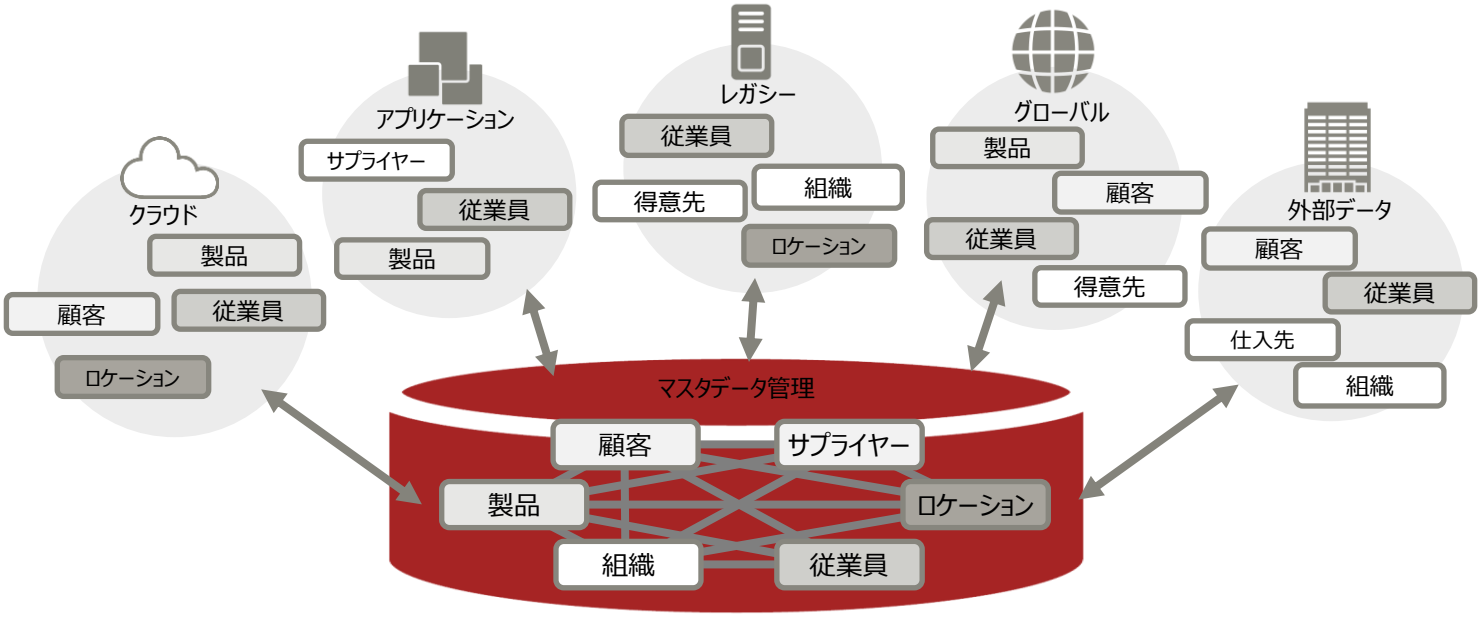
FUJITSU

Informatica Master Data Management (MDM)

ビジネスに貢献するマスタデータ管理ソリューション

MDMのソリューションを導入することにより、ビジネスユーザーに対して、信頼できる品質の高い包括的なデータを供給し、「規制への対応」、「業務効率向上・コスト削減」によるマーケティング効率の改善や、「新規顧客獲得と維持」といった営業力の強化・CXの向上、「企業統合」「意思決定の向上」などビジネスに直結する価値を創出することが可能となります。

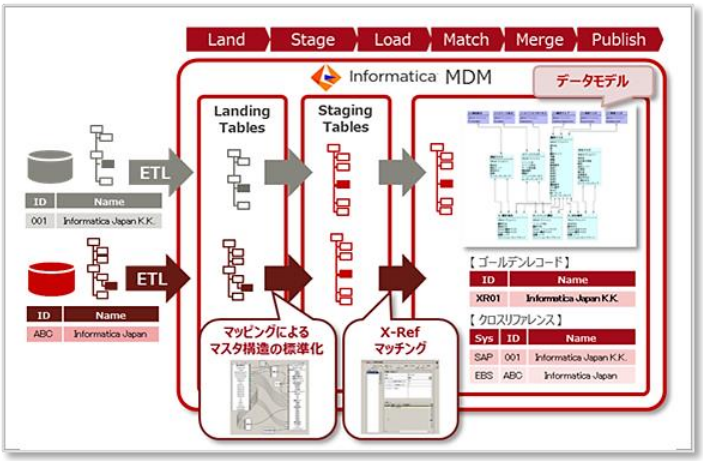


正確な業務・判断を実現するマスタデータ管理ソリューション

- ✓ データ集信、クレンジング、名寄せ、共通コード付与により、最も信頼できる「ゴールデンマスタ」を生成管理します
- ✓ 散在するマスタが統合／横串された一意のマスタとして利用可能となり、業務で扱うデータの精度が向上します
- ✓ お客様のビジネス状況がリアルタイムに可視化されるようになり、環境変化に強くタイムリーな判断が実現します

Informatica MDMのメリット

- ➢ マスタデータ管理に必要な全ての機能*1を共通データ・プラットフォームとして提供しています。
  *1 データ連携、加工・クレンジング、名寄せ、マスタの登録・更新・削除画面、承認ワークフロー、更新履歴管理、データ品質監視、等
- ➢ お客様の業務要件や活用方法に合わせて、柔軟なデータモデルを構築することが可能です。
- ➢ お客様の目的やタイミングに応じて、様々なスタイルのマスタデータ統合アプローチを選択できます。



InformaticaMDMの特長

ビジネスに貢献するマスタデータ管理ソリューションとして様々な特長があります。

- **プラットフォーム型**
  MDMの型にお客様のビジネスをはめ込むのではなく、お客様のデータをしっかりとMDMとして実装のできるプラットフォーム型のMDM環境構築を実現します。
- **マルチスタイル**
  分析型、集中管理型、Hub 型など求められるMDM実装スタイルに合わせて、任意の実装が可能です。
- **マルチドメイン**
  従来の１つのドメイン（PIM や CDI 等）を対象としたMDMではなく、１つのMDMプラットフォーム上で、ビジネスに必要なマスタデータのすべてを管理します。
- **マスタデータ管理コンソール**
  MDM上に蓄積されたマスタデータを様々な観点から監視、管理するためのコンソールを提供します。MDM のデータ品質管理や、承認ワークフロー機能などを実現します
- **監査証跡**
  MDM上で管理されるマスタデータでは、監査目的のための、変更履歴、証跡管理が必須となり、ビジュアルにデータ項目単位での監査証跡を実現します。
- **関連付け**
  メタデータ情報を元に、データ項目変更時などの影響分析、関連あるデータ連携の一覧表示、データ連携内で関連個所の見える化を実現します。

富士通の強み

- データ統合関連ビジネスに関して20年以上の実績を有し、経験豊富な技術者が多数在籍
- インフォマティカ再販パートナとして15年以上のInformaticaソリューション取り扱い実績
- DWH/BI/BAといった情報利活用とともにお客様への最適なソリューションをご提案ご提供可能
- 「Informatica Partner Award」を2017年度、2018年度、2019年度の3年連続で受賞

富士通におけるMDM導入プロジェクト事例

経営者や各国グループ企業のトップがタイムリーに意思決定するためのマネジメント指標が提示されていない
グローバルでの評価軸共通化と分析精度や柔軟性の向上が必要

課題と原因	課題解決に必要なこと	取り組み
・グローバル横断でビジネスの状況が把握できない ・各拠点の入力データの粒度や集計単位がばらばらで、実態を把握するのに人手での集計が必要	グローバル同一基準で実態を把握するための評価軸共通化 (マスタ整備・体制明確化)	**グローバルマスタ統合管理プロジェクト** ✓ グローバルで横串を通せる軸(顧客、商品)の整備 ✓ マスタデータオーナの明確化(顧客、商品) ✓ コード共通化
・市場に対し、自社が強みを持つ分野での提供や商品展開ができていない ・入力データの粒度や集計単位のばらつきのため、グローバル横断での分析に限界があり、市場やお客様の変化を捉えられない	横断分析するための共通コード整備と分析精度・柔軟性の向上	

プロジェクト期間：15ヶ月
開発規模：79 I/F（連携先システム数 11）

※記載の会社名、商品名は、各社の商標または登録商標です。
※記載された情報は、予告なく変更することがあります。
※記載の内容は、2020年8月現在のものです。

お問い合わせ先
富士通コンタクトライン（総合窓口）
0120-933-200
受付時間 9:00～12:00 および 13:00～17:30
（土・日・祝日・当社指定の休業日を除く）

Copyright 2021 FUJITSU LIMITED